



2021年11月22日

各位

会社名 窪田製薬ホールディングス株式会社
 代表者名 代表執行役会長、社長兼最高経営責任者
 窪田 良
 コード番号 4596 東証マザーズ
 問合せ先 広報・IR部
 (TEL: 03-6550-8928 (代表))

オーストラリア・スペース・バイオロジー x ヘルス・サミットにて登壇しました

窪田製薬ホールディングス株式会社(本社：東京都千代田区、以下「当社」)は、当社の代表執行役会長、社長兼最高経営責任者であり、100%子会社窪田ビジョン・インク(本社：米国ワシントン州、以下、「クボタビジョン」)の代表執行役会長、社長兼最高経営責任者の窪田良博士が、オーストラリア・スペース・バイオロジー x ヘルス・サミット(Australian Space Biology x Health Summit、以下「ASBX」)で登壇いたしましたことをご知らせいたします。

タイトル	“Use of compact OCT for long duration space mission to monitor SANS” (宇宙飛行中の宇宙飛行士の視神経の状態をモニタリングするための小型デバイスの開発)
URL	https://www.youtube.com/channel/UCQw322ckA1BFPbvWb_nmfAA

ASBXは、2019年に初めて開催されたオーストラリア・スペース・バイオロジー・シンポジウム(ASBS)が起源となり開催されました。ASBSは、人類が宇宙で暮らすための基礎科学と技術のギャップを埋めるために、国際的な研究者と産業界のコミュニティを結集するべく開催され、2020年にもシンポジウムを成功させております。今年のASBXでは、宇宙STEMの分野で革新的でありながら問題解決の可能性を秘めた国際的な専門家を招き、人類と宇宙の大きな問題についてさらに考える場を提供しました(ASBXウェブサイトは[こちら](#)です)。

眼科医であり、当社の会長、社長兼最高経営責任者である窪田博士は、この度のASBXに登壇するにあたり、次のように述べています。

「世界中から最先端の宇宙技術が集められるASBXに登壇する機会をいただけたことを光栄に思います。我々が2019年より始めているアメリカ航空宇宙局NASAとのプロジェクトも、様々な環境変化による課題を乗り越え、なんとか形にするべく話し合いを続けております。今後も我々は着実に技術力を証明しつつ、ビジネスの拡大を目指してまいります。」

窪田製薬ホールディングス株式会社について



当社は、世界中で眼疾患に悩む皆さまの視力維持と回復に貢献することを目的に、イノベーションをさまざまな医薬品・医療機器の開発及び実用化に繋げる眼科医療ソリューション・カンパニーです。当社100%子会社のクボタビジョン・インク（米国）が研究開発の拠点となり、革新的な治療薬・医療技術の探索及び開発に取り組んでいます。当社独自の視覚サイクルモジュレーション技術に基づく「エミクススタト塩酸塩」においては、糖尿病網膜症およびスターガルト病への適応を目指し研究を進めております。また、在宅・遠隔医療分野（モバイルヘルス）における医療モニタリングデバイス（PBOS）、ウェアラブル近視デバイスの研究開発も手掛けております。

（ホームページアドレス：<http://www.kubotaholdings.co.jp>）

免責事項

本資料は関係情報の開示のみを目的として作成されたものであり、有価証券の取得または売付けの勧誘または申込みを構成するものではありません。本資料は、正確性を期すべく慎重に作成されていますが、完全性を保証するものではありません。また本資料の作成にあたり、当社に入手可能な第三者情報に依拠しておりますが、かかる第三者情報の実際の正確性および完全性について、当社が表明・保証するものではありません。当社は、本資料の記述に依拠したことにより生じる損害について一切の責任を負いません。

本資料の情報は、事前の通知なく変更される可能性があります。

本資料には将来予想に関する見通し情報が含まれます。これらの記述は、現在の見込、予測およびリスクを伴う想定（一般的な経済状況および業界または市場の状況を含みますがこれらに限定されません）に基づいており、実際の業績とは大きく異なる可能性があります。今後、新たな情報、将来の事象の発生またはその他いかなる理由があっても、当社は本資料の将来に関する記述を更新または修正する義務を負うものではありません。